

PRIMERGY ファイバーチャネルスイッチブレード ご使用上の注意

対象装置型名: PY-FCB101, PYBFCB1011, PYBFCB1012, PY-FCB102, PYBFCB1021,
PYBFCB1022, PY-FCB103, PYBFCB1031, PYBFCB1032, PG-FCS104,
PGBFCS1041, PGBFCS1042

このたびは弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本製品をご使用になる上での注意事項がございますので、本書をよくお読みの上ご使用願います。

2015年3月
富士通株式会社

1. 故障交換時のライセンス更新作業についての注意事項

ファイバーチャネルスイッチブレードでは、故障した場合の保守交換作業を行う際に、スイッチのライセンス環境移行作業のためインターネット接続環境が必要になります。保守員にて交換作業を実施いたしますが、このライセンス環境移行作業のため、保守員よりお客様のインターネット接続環境を使用させて頂く場合があります。対象製品の設置場所付近に、インターネット接続環境（Brocade 社のサイトへ接続）を必ず準備してください。

2. ファイバーチャネルスイッチブレードの Fill word¹ 設定についての注意事項

本装置のポートにデバイスを 8Gbps の速度で接続する場合、Fill word 設定の初期値が
Mode 0 : Link Init/Fillword = Idle/Idle
になっています。一般的な 8Gbps のデバイスは ARB(ff) で動作するため、それらと 8Gbps で接続する際には、
Mode 1: ARB(ff)/ARB(ff)
もしくは
Mode 3: ARB(ff)/ARB(ff) が失敗した場合、Idle/ARB(ff)
が推奨となります。

Mode 0 設定のポートを 8Gbps デバイスと接続した場合、故障が発生していない場合でも環境や接続機器・構成によっては伝送エラーが発生する場合があります。そこで伝送エラーを防止するため、次の設定をポート毎に設定することを推奨します。

- ・ダウンリンクポート(内部ポート port1~18)を 8Gbps 接続する場合: Mode 1 設定
- ・アップリンクポート(port0, port19~port25)を 8Gbps 接続する場合: Mode 3 設定

他の FC スイッチへの接続ポート(ISL ポート)は設定の必要はありません。

コマンド) ダウンリンクポートの場合: "portcfgfillword x, 1" (x:ポート番号[1~18])

コマンド) アップリンクポートの場合: "portcfgfillword x, 3" (x:ポート番号[0, 19~25])

コマンド) 設定の確認: portcfgshow x (x:ポート番号)

```
Area Number: x
.....
Fill Word (On Active) 0 (Idle-Idle)
Fill Word (Current) 0 (Idle-Idle)
```

¹ Fill word とはデータフレーム間に埋め合わせとして送られる信号(Ordered Set)のことで、"Idle"というフォーマットと"ARB(FF)"というフォーマットが使用されます。元々、4Gbps を使用する際には"Idle"が使用されていましたが、8Gbps ではより電磁放射を抑え、伝送エラーに耐性のある"ARB(FF)"が推奨されています。"Idle", "ARB(FF)"はリンクの Initialize 時にも使用されます。

注意:

- ・本コマンドで設定を変更した場合、ポートが一旦リセットするため一時的に I/O 処理が中断します。
- ・すでに稼働している環境において、伝送エラーが発生していない場合、変更する必要はありません。
- ・8Gbps 接続デバイスでも場合によって Mode 0 の動作であることが必須の場合があります(※)。

※PRIMERGY として採用しているファイバーチャネルカードの 8Gbps 接続は全て ARB(FF)設定(カード側にて変更不可)の為、Mode 1/Mode 3 への変更を実施することを推奨します。また、その他接続装置で Mode 0 が必須か不明瞭な場合、接続装置提供元に問い合わせください。

3. SNMP テストトラップ発行コマンドについて

本製品を Access Gateway(AG)モードで使用される場合、ファームウェア(Fabric OS)の版数 v7.0.0c, v7.0.1b, v7.0.2c 版では、"snmptraps --send"コマンドによるテストトラップは発行できません。従って、対象のファームウェアで AG モードを使用している場合、トラップ発行確認はポートのシャットダウン・アップといった実トラップでの確認が必要となります。

4. マネジメントブレード(MMB)のファームウェア版数について

本製品を使用する場合、お使いのファイバーチャネルスイッチブレードの以下の表に記載されているファームウェア(Fabric OS)を使用する場合、表に記載されている MMB ファームウェア版数以上のものを使用してください。

| Fabric OS version | BX900 S1/S2 Firmware version (minimum required) | BX400 S1 Firmware version (minimum required) |
|-------------------|--|---|
| v7.2.1 | 5.20 | 6.62 |

※表に示す MMB FW 版数より古いものを使用しても動作しますが、予期しない障害発生を防ぐため、特別な理由がない限り、表に示す版数以上のものを使用してください。

※Fabric OS v6.4.1a 以下を使用している場合は、Fabric OS と MMB ファームウェアのアップデートを行うことを強く推奨します。

5. Java 7 Update 51 適用に対する影響について

本製品を v7.2.0a 以前のファームウェアを使用している場合、Java 7 update 51 から導入される予定の自己署名付き証明書を使用している java アプレットの動作ブロックにより Web-GUI を使用することができません。対象ファームウェアで Web-GUI を使用したい場合、例外サイトリストに Web-GUI の URL を追加、もしくは Java 版数のダウングレードなどの対応が必要となります。v7.2.1 版以降では通常通り使用することができます。

以上